

平成31年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第4号(7月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和元年6月27日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○7月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		7月の発生量 (平年比)	6月からの増減	6月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
カンショ	① ナカジロシタバ	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）
	② イモキバガ	多	↗	多	例年の発生量の推移（↗）
さとらきび	① バッタ類	-	-	並	
	② メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ)	-	-	多	
	③ メイチュウ類(イネヨトウ)	-	-	多	
	④ 黒穂病	-	-	並	
（温州かんきつミカン）	① かいよう病	並	→	並	平年の発生量の推移（↘） 6月の降水量が平年より多い
	② そうか病	並～やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（↘） 6月の降水量が平年より多い
	③ アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④ ミカンハモグリガ	多	↗	多	平年の発生量の推移（↗）
	⑤ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
かんきつ（タンカン）	① かいよう病	並～やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗） 6月の降水量が平年より多い
	② そうか病	並	→	並	平年の発生量の推移（↘） 6月の降水量が平年より多い
	③ アブラムシ類	並	↘	やや少	平年の発生量の推移（↘）
	④ ミカンハモグリガ	並～やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	⑤ ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○7月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		6月の発生量 (平年比)	5月からの増減	5月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並～やや多	↗	やや多	トラップ誘殺虫数が平年並 平年の発生量の推移（↗）
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移（↘）
	③ ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
へちま	① ベと病	並～やや多	→	並	6月の降水量が平年より多い 平年の発生量の推移（→）
	② うどんこ病	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）
	③ ハモグリバエ類	(発生なし)並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	④ ヒメクロウリハムシ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	⑤ ミナミキイロアザミウマ	多	→	多	つる先の平年の発生量の推移（→） 葉の平年の発生量の推移（→）
オクラ	① うどんこ病	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④ チョウ目幼虫 (オオタバコガを除く)	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
かんきつ	果樹カメムシ類 (ミナミトゲヘリカメムシ)	病害虫防除員報告によると、本島北部で中発生だった。落果の原因となるため、ほ場を見回り早期発見・早期防除に努める。
	黒点病	病害虫防除員報告（本島南部）によると、本種が中発生であった。 早期に発見し捕殺する。 発生源となる施設内や周辺の雑草を除去する。
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	関係機関からの情報によると、幼果において、平年より炭そ病の被害が多く見られる。 果実肥大期まで定期的に予防散布を行う。 せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。
	カイガラムシ類	病害虫防除員報告（本島南部）によると、本種が中発生であった。 施設内にまん延すると防除が困難になるため、早期発見・早期防除が重要である。 柔らかい歯ブラシで擦り落とすことが有効である。
	ドクガ類	病害虫防除員報告（本島南部）によると、本種が中発生であった。 早期に発見し捕殺する。 発生源となる施設内や周辺の雑草を除去する。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 宮古群島 病害虫発生予報 第4号(7月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和元年6月27日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○7月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		7月の発生量 (平年比)	6月からの増減	6月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	-	-	やや多	
	③ メイチュウ類(イネヨトウ)	-	-	やや多	
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	② マンゴーハフクレタマバエ	多	→	多	平年の発生量の推移（→） 新梢の発生量が増加するため
	③ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
オクラ	① うどんこ病	並	→	並	収穫期に入り草勢が低下するため
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③ アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④ チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)	並	→	並	平年の発生量の推移（→）

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	黒穂病	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関および防除員報告より宮古島、伊良部島、多良間島で多発生情報あり。 ・ 胞子の飛散を防ぐため、できるだけ鞭状体出現前に抜き取り処分する。 ・ 発病ほ場やその隣接地から採苗しない。

● 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

● 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 八重山群島 病害虫発生予報 第4号(7月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和元年6月27日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○7月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		7月の発生量 (平年比)	6月からの増減	6月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	-	-	並	
	③ メイチュウ類(イネヨトウ)	-	-	並	
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	③ ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
オクラ	① うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗）
	③ アブラムシ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	黒穂病	・胞子の飛散を防ぐため、できるだけ鞭状体出現前に抜き取り処分する。 ・発病ほ場やその隣接地から採苗しない。
オクラ	オオタバコガ	・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

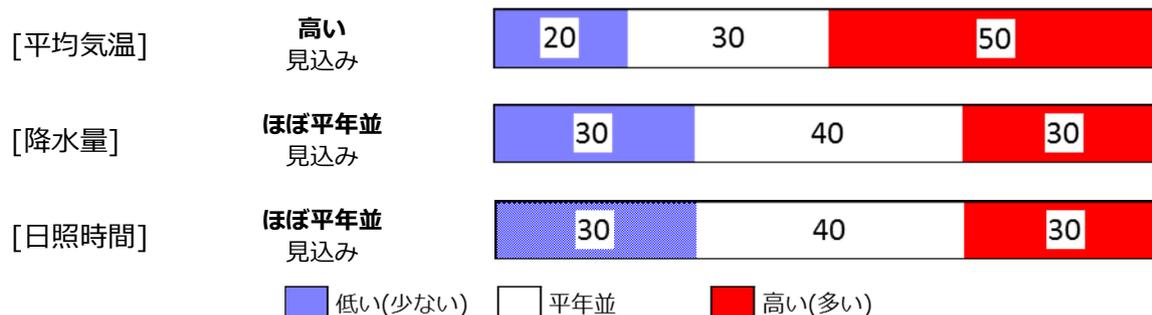
向こう1か月の天候の見通し
沖縄地方（6月29日～7月28日）



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

- 気象予報のポイント
- 向こう1か月の天候は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の平均気温は高いでしょう。

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

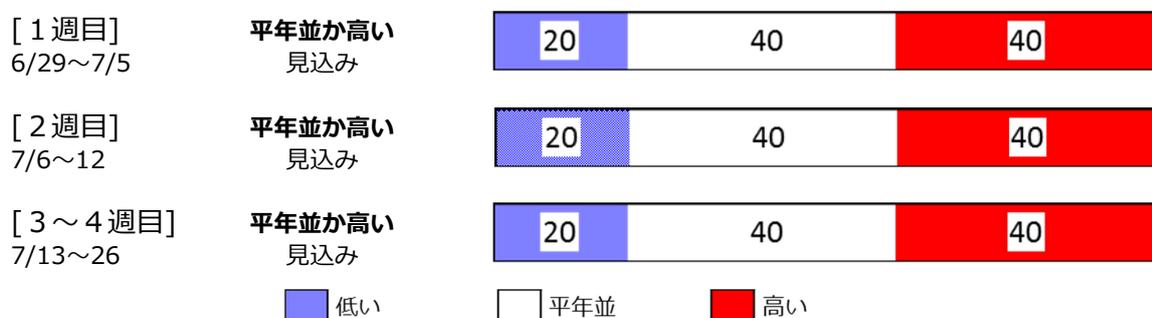


数値は予想される出現確率(%)です。

<平年並の範囲>

	平均気温(1か月)	降水量(1か月)	日照時間(1か月)
沖縄地方	平年差: -0.2~+0.3℃	平年比: 62~110%	平年比: 97~108%
那覇	28.6~29.3℃	48.8~141.0mm	207.9~235.1時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率(%)です。

<平年並の範囲>

	平均気温(1週間)	平均気温(2週間)	平均気温(3~4週間)
沖縄地方	平年差: -0.1~+0.5℃	平年差: -0.2~+0.4℃	平年差: -0.2~+0.3℃
那覇	28.5~29.0℃	28.6~29.2℃	28.8~29.4℃

- ※ 沖縄地方の平年差(比)は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点平均値です。
- ※ 平年並の範囲は、過去30年間(1981~2010年)の値から統計的に求めています。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>

本 所 〒902-0072 那覇市字真地123

TEL 098-886-3880 FAX 098-884-9119

宮古駐在 〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40(農研センター宮古島支所内)

TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474

八重山駐在 〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6(農研センター石垣支所内)

TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157